

①始まりました！

今月は自然そのままの姿が残る糺の森で自由に遊びました。もちろん滑り台やブランコなどの遊具はなく、道具はスコップとバケツしかありません。しかし、「何をして遊ぶか…」と立ち止まるメンバーはほとんどおらず、次から次へと遊びが生み出されていました。今回はその中でもほんの一部ですが、発想力豊かなメンバー達の遊びを紹介いたします。



②枝や石は何にでも変身するよ！

糺の森内には長さや大きさが様々な枝と石が沢山ありました。枝を銃に見立て撃ち合いごっこをしたり、柱に見立て家を作ったり、枝の形に注目しながら選び、遊びを展開しておられました。また、友達と一緒に石を積み上げ、「形がケーキみたい！」の一言からお誕生日会が始まりました。まわりにいた友達やリーダーを誘い、歌を歌いながらお祝いする事を楽しんでおられました。

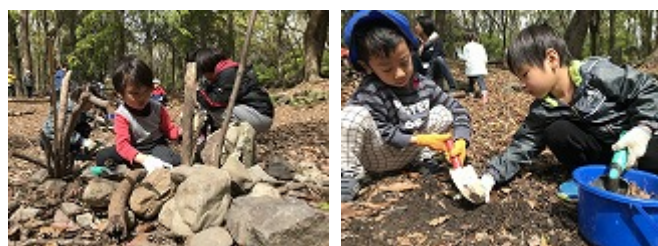


③これはなんだろう？

午後からも同じ場所で遊びました。誰かがミミズやくモ、キノコを見つけると「どこどこ？」とみんなで覗き込み、発見を共有しておられました。また、とにかく好奇心旺盛で分からない物に出会うと、「これはなに？」と聞き回っておられました。リーダーから「なんだと思う？」と尋ねられると、「きっと〇〇に使うんだ！」と想像力豊かに答える姿が微笑ましかったです。

④遊べば友達！

時間が経つにつれ、一人遊びではなく友達と遊ぶ姿が見られました。言葉数は少ないながらもお花を渡したり、道具を一緒に使ったり、一つの物を一緒に作ったり、遊びによって幾つかのグループができました。そしてその後のおやつ時間も自然と隣に座る様子を見て、名前は分からないけど、何か通じるものがあるのかなと感じました。来月も一緒に遊ぼうね！まったねえ〜！！



今月は糺の森で一日中遊びました。ずっと同じ場所は飽きてしまうかな？と心配していましたが、「午後からはどこで遊ぶ？」という問いかけに「さっきの場所！」と即答でした。また、遊びを終える時間になったことを伝えると、「なんで？もっと遊びたい！」とまだまだ遊びが尽きないようでした。事前に考えた楽しそうな遊びを提供するのではなく、その場で見つけた楽しい遊びを大事にしていきたいと改めて感じました。また、自然や友達と触れ合う中で見つけた事を少しずつ言葉にしていければと思います。（生本 ひろみ）